



百周年記念行事

記念コンサート「絆」を開催

800人が市民会館に

東高の創立百周年を記念して、卒業生の音楽家による記念コンサート「絆」を6月13日(日)、午後4時半から姫路市民会館で開催しました。会場は、卒業生や在校生など約800人が訪れ、満員の盛況となりました。

出演者は、2007年姫路市芸術賞を受賞し、現在は姫路日ノ本短期大学講師を務めるメゾ・ソプラノ歌手の向井順子さん(東高29回)、第6回松方音楽ホール音楽賞大賞や平成14年度兵庫県芸術奨励賞など数多くの受賞経験を持つソプラノ歌手の尾崎比佐子さん(東高33回)、20年にわたる短大教員を経て現在フリーのピアニストとして活躍するとともに門下生から多数のコンクール入賞者を輩出するなど教育家としても活躍中の吉田裕文さん(東高35回)、ドイツのデトモルト・ミュンスター音楽大学



に留学し、現在日ノ本学園高校、姫路獨協大学の非常勤講師、姫路労音合唱団専属ピアニストを務める丸山聡美さん(東高41回)、ジュリアード音楽院で修士課程を修了し第68回日本音楽コンクールクラリネット部門第一位に輝くなど国内外で活躍するクラリネット奏者の上田希さん(東高43回)、第23回学生ギターコンクール大学生部門第4位を受賞

最後は校歌の斉唱で
コンサートは上田希さんの「タンゴ・エチュード3番」で始まり、丸山聡美さんが聴衆にもなじみの深い「亜麻色の髪の乙女」を演奏。渡辺悠也さんが映画「ディア・ハンター」から「カヴァーティーナ」、吉田裕文さんがリストの「愛の夢」第3番「ハンガリー狂詩

し、姫路を中心にクラシックギターの演奏・教授で活躍中の渡辺悠也さん(東高47回)の6人。

曲」を演奏しました。向井順子さんは北原白秋作詞、山田耕筰作曲の「この道」「かやの木山」「松島音頭」で日本人の心を歌い上げ、尾崎比佐子さんは本格オ



上田さん、尾崎さん、吉田さんの共演で。尾崎さん、向井さん、丸山さんが共演で「故郷」を演奏しました。フィナーレは出演者と聴衆全員が姫路高等女学校と東高の校歌を大合唱。文字通り「絆」を深める楽しいひとときとなりました。

終演後もさめめ感動

終演後も参加者の皆さんは感動さめやらぬ様子で、「感動の一言に尽きませんね。感謝しています」「皆さんの素晴らしい姿に、私も自分の道を一生懸命歩んでいこうと思いました」「演奏にパワーをもらいました」「涙が出る想いでした」「鳥肌がたつくらい感動しました」「心が清く美しくなりました」などの感想が多数寄せられました。

ペラ「セビリアの理髪師」から「今の歌声は」「ジャンニ・スキッキ」から「私の大切なお父さん」を披露。さらに、シューベルトの歌曲を